

みらい財団のオフィスレイアウト (5つの特徴)

会議スペース

大会議室を取り外し可能なパーティションで区切り、様々な規模の会議が行える。多様な人達が新しいコラボレーションについて話し合える会議スペースになっている。

セキュリティ

個人情報管理のため、執務室は壁で区切られ、カードリーダーで入室できる。入り口から会議室へ直接入れるような設計となっている。また保秘性の高い情報のある会議でも対応可能な会議室も容易。

エントランス

「国民に開かれたオフィス」をコンセプトに、エントランスを大きく取り、広々とした来客待機スペースを用意している。

柔軟なオフィス活用

初年度職員数から拡張を想定したスペースを用意。

アーカイブスペース

成果情報をまとめて保管し、まとめて発信するためのアーカイブ・ライブラリースペースも用意。

